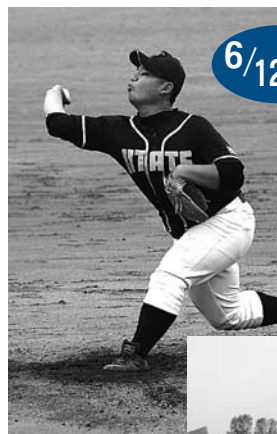


飯館中生、中体連で健闘！



6/12・13

◀好投した野球部ピッチャー
の菅野健太さん（3年）



▲吹奏楽部の応援にも力が
入ります

◀一球入魂！卓球部の
高橋秋奈さん（3年）

中学校総合体育大会相双支部予選会が、南相馬市や相馬市を会場に開かれ、自前の施設で部活動ができるようになった生徒たちは、放課後だけでなく土曜日や日曜日にも、限られた時間の中で練習に励んでいました。出場したのは野球部、

サッカー部、女子バレー部、女子バスケットボール部、男女テニス部、男女卓球部と全部で八つの運動部。吹奏楽部は演奏で野球部を応援しました。出場した生徒たちは、緊張しながらもこれまでの練習の成果を発揮し、それぞれ健闘しました。

5/30

「いっしょにあそぼ！」

一日体験入園



▲読み聞かせも一緒に

草野・飯櫃幼稚園の一日体験が、未就園児対象に行われました。小さなお友達が来ると、園児たちは一緒にシャボン玉を飛ばしたり、お寿司屋さんごっこをしてお兄さん・お姉さんらしくもてなしました。また、ホールでは体操や大型絵本の読み聞かせがあり、参加した親子は、幼稚園を楽しんでいました。幼稚園の一日体験は、10月に再度、行われる予定です。

6/7

学生の「夢」、村も応援します

奨学金交付式



▲保護者に奨学金を手渡す八巻教育長(右)

村では、高校や専門学校、大学等に進学を志す方に、無利子で奨学金をお貸ししています。今年は、3人の学生を対象に奨学金交付式が飯野出張所で行われました。本人代理で参加した保護者に、八巻教育長から「親を思い、村を思い、がんばっている子どもさんに、応援の気持ちを伝えたい」と奨学金が手渡されました。

6/10

6/11

気分はイギリス留学

草野・飯櫃・白石小学校の6年生38人が、天栄村にあるブリティッシュヒルズで1泊2日のイギリス体験学習を行いました。ブリティッシュヒルズは英語の語学研修施設のため、スタッフは英語しか話しません。サイエンスチャレンジやクッキングなどの体験だけでなく、チェックインやチェックアウトも英語で行い、児童たちは楽しみながら英語に親しんでいました。



▲大食堂でのディナーではナイフとフォークで料理を味わいました

6/20

日野原先生、小学生に「いのちの授業」



▲聴診器を使い「命の音」を聞く児童(左が日野原先生)

医師の日野原重明先生（101歳）が、草野・飯櫃・白石小学校体育館で小学4年生から6年生を対象に命の大切さなどについて講演する「いのちの授業」を行いました。日野原先生は、児童に前日の時間の過ごし方を質問しながら「今、皆さんが自分のために使っている大事な時間こそが命そのもの。大人になれば、その命(時間)を誰かのために使うことが大切」と語りかけました。参加した児童は「大きくなったら誰かのために時間を使える人になりたい」と感想を話していました。

6/13

温かな給食を子どもたちへ

給食センター開所式

これまで幼稚園と小・中学校の給食は、村の給食センターでの提供が行えないため、伊達市の給食センターにお世話になり作られてきました。新たに福島市飯野町に仮設の給食センターが完成したことにより、6月17日から自前の給食がスタートしました。出来上がった給食は、1食分を丸ごと放射能検査して安全を確認してから配送しています。

給食提供に先立ち、13日には給食センターの開所式が飯館中学校仮設校舎で開かれました。式では、始めに菅野村長が「飯野町の皆さんのご協力があって開設できました。給食を通じて子どもたちに思いを伝えたい」と関係者に感謝を述べました。また、給食の試食会も併せて行われ、出席した関係者に出来たての給食が振る舞われました。



▲完成した給食センター



▲開所式で給食を試食する参加者



◀残さずに
たくさん食べてね